

ミナンカバウ語母語話者と日本語母語話者における
「依頼」・「勧誘」と「断り」表現の比較分析：
人称代名詞の観点から (研究の成果発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Nurfajri, Muhammad メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027466

ミナンカバウ語母語話者と日本語母語話者における「依頼」・「勧誘」と「断り」表現の比較分析-人称代名詞の観点から-

Muhammad Nurfajri(情報学専攻)

本研究はミナンカバウ語母語話者と日本語母語話者における「依頼」・「勧誘」と「断り」の言語表現の比較分析を行い、言語コミュニケーション上の対人配慮戦略を探る。研究の目的は(1)両母語話者の、「依頼」・「勧誘」・「断り」表現における人称代名詞の使用の特徴を明らかにする、(2) (1)に基づき、Brown and Levinson (1989)のPoliteness理論の観点から、「依頼」・「勧誘」・「断り」表現における人称代名詞の使用のメカニズムを明らかにする。ミナンカバウ語母語話者と日本語母語話者では人称代名詞の使用において異なる言語戦略をとることが分かった。